

# JIS

## 鉄筋コンクリート用棒鋼

JIS G 3112 : 2020

(JISF)

令和 2 年 4 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本産業標準調査会標準第一部会 金属・無機材料技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	木村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
(委員)	天谷 義 則	一般社団法人日本アルミニウム協会
	井上 謙	一般社団法人日本産業機械工業会
	鎌土 重 晴	一般社団法人日本マグネシウム協会(長岡技術科学 大学)
	組田 良 則	一般社団法人日本建設業連合会(株式会社フジタ)
	倉品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会(三菱自動車工業株式 社)
	篠崎 和 夫	東京工業大学名誉教授
	種物谷 宣 高	高圧ガス保安協会
	須山 章 子	一般社団法人日本ファインセラミックス協会(東芝 エネルギーシステムズ株式会社)
	田中 一 彦	一般社団法人日本電機工業会
	寺澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	廣本 祥 子	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	藤田 篤 史	ステンレス協会(日本冶金工業株式会社)
	水沼 涉	一般社団法人日本溶接協会
	山口 富 子	九州工業大学
	吉田 仁 美	一般財団法人建材試験センター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 39.7.1 改正：令和 2.4.20

官 報 掲 載 日：令和 2.4.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本鉄鋼連盟

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-4826)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会(部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：金属・無機材料技術専門委員会(委員長 木村 一弘)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類の記号	2
5 製造方法	3
6 化学成分	3
6.1 溶鋼分析値	3
6.2 炭素当量	3
7 機械的性質	4
8 形状、寸法、質量及び許容差	5
8.1 丸鋼の形状、寸法、質量及び許容差	5
8.2 異形棒鋼の形状、寸法、質量及び許容差	6
9 外観	9
10 試験	9
10.1 分析試験	9
10.2 機械試験	9
10.3 形状、寸法及び質量の測定	10
11 検査	10
11.1 検査	10
11.2 再検査	10
12 表示	11
12.1 表示の仕方	11
12.2 1本ごと又はコイルの表示	11
12.3 1結束ごとの表示	12
13 報告	12
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	13
解 説	17

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本鉄鋼連盟（JISF）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS G 3112:2010** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、令和 3 年 4 月 19 日までの間は、産業標準化法第 30 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS G 3112:2010** を適用してもよい。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

## 鉄筋コンクリート用棒鋼

## Steel bars for concrete reinforcement

## 序文

この規格は、2007年に第2版として発行されたISO 6935-1及び2019年に第4版として発行されたISO 6935-2を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JAに示す。

## 1 適用範囲

この規格は、コンクリート補強に使用する、熱間圧延によって製造された丸鋼<sup>1)</sup>及び異形棒鋼<sup>1)</sup>について規定する。ただし、JIS G 3117に規定する鉄筋コンクリート用再生棒鋼には適用しない。

**注記** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

**ISO 6935-1:2007**, Steel for the reinforcement of concrete—Part 1: Plain bars

**ISO 6935-2:2019**, Steel for the reinforcement of concrete—Part 2: Ribbed bars (全体評価: MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

**注<sup>1)</sup>** コイル状のものを含む。

## 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS G 0201 鉄鋼用語(熱処理)

JIS G 0202 鉄鋼用語(試験)

JIS G 0203 鉄鋼用語(製品及び品質)

JIS G 0320 鋼材の溶鋼分析方法

JIS G 0404 鋼材の一般受渡し条件

JIS G 0415 鋼及び鋼製品—検査文書

JIS G 3117 鉄筋コンクリート用再生棒鋼

JIS G 3191 熱間圧延棒鋼及びバーインコイルの形状、寸法、質量及びその許容差

JIS Z 2241 金属材料引張試験方法

JIS Z 2248 金属材料曲げ試験方法

JIS Z 8401 数値の丸め方